

【FdData 中間期末：中学社会歴史】

[聖徳太子の政治改革]

◆パソコン・タブレット版へ移動

[朝鮮半島の動乱と隋の中国統一]

[問題](1 学期期末改)

6 世紀になると、朝鮮半島では、新羅や百済が勢力を強め、新羅は、大和



政権と深い交流のあった

伽耶(任那)地域の国々をほろぼした。

6 世紀末には、中国で(X)が国内を統一し、大帝国をつくった。(X)は従わなかった高句麗に軍隊を送るなどしたために、東アジアの周辺諸国の間で緊張が高まった。文中の X に適語を入れよ。

[解答]隋

[解説]

6世紀になると、朝鮮半島では、新羅や

百済が勢力を強め、特に新羅は、大和政権と深い交流のあった伽耶(任那)地域の国々をほろぼし

た。6世紀末には、中国で隋が国内を統一し、大帝国をつくった。隋は従わなかった高句麗に軍隊を送るなどしたために、東アジアの周辺諸国の間で緊張が高まった。

※出題頻度：「新羅(地図)が伽耶の国々をほろぼす△」「隋○」(頻度記号：◎(特に出題頻度が高い)，○(出題頻度が高い)，△(ときどき出題される))

[朝鮮半島など]

新羅：伽耶の国々をほろぼす

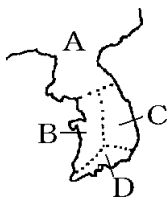
隋：国内を統一



[問題](1 学期期末)

次の各問いに答えよ。

- (1) 6 世紀の朝鮮半島で、大和政権と深い交流のあった伽耶地域の国々をほろぼしたのは何とい



う国か。①国名を答えよ。②また、その国の位置を図の A～D から選べ。

- (2) 中国では 6 世紀の末に南北朝を統一して強大な帝国が生まれた。何という国か。

[解答](1)① 新羅 ② C (2) 隋

[聖徳太子が摂政となる]

[問題](1 学期期末改)

次の文章中の①，②に適語を入れよ。

6 世紀後半，大和政権の中では，有力豪族たちが次の大王をだれにするかをしばしば争っていた。その中で，渡来人と結び付き，新しい知識と技術を活用した蘇我氏(蘇我馬子)が，物部氏をほろぼして勢力を強め，593 年に女性の(①)天皇を即位させた。飛鳥地方(奈良盆地南部)で政治をとった(①)天皇の下，おいの(②)が摂政となり，蘇我馬子と協力し，中国や朝鮮に学びながら，大王(天皇)を中心とする政治の仕組みを作ろうとした。

[解答]① 推古 ② 聖徳太子(厩戸皇子)

[解説]

[聖徳太子が摂政となる]

聖徳太子が推古天皇の摂政になる

蘇我馬子と協力して政権をにぎる

6世紀後半、大和政権の中では、有力豪族^{ごうぞく}たちが次の大王^{おおきみ}をだれにするかをし

ばしば争っていた。その中で、渡来人^{とらいじん}と結び付き、新しい知識と技術を活用した蘇我氏^{そがし}(蘇我馬子^{そがのうまこ})が、物部氏^{もののべし}をほろぼして



聖徳太子

勢力を強め、593年に女性の推古天皇^{すいこ}を即位^{そくい}させた。飛鳥地方(奈良盆地南部)で政治をとった推古天皇の下、おいの聖徳太子^{しょうとくたいし}(厩戸皇子^{うまやどのおうじ})が摂政^{せつしょう}となり、蘇我

馬子と協力し、中国や朝鮮に学びながら、
大王(天皇)を中心とする政治の仕組みを
作ろうとした。

※「摂政」の語句を削除した教科書もある。

※出題頻度：「推古天皇◎」「聖徳太子(厩戸皇子)◎」「摂政△」「蘇我馬子(蘇我氏)○」

[問題](前期期末)

6 世紀後半のできごとについて、次の各問いに答えよ。

- (1) 渡来人と結び付いて新しい知識と技術を活用し、物部氏をほろぼして勢力を強めたのは誰か。
- (2) 593 年に即位した女帝は誰か。
- (3) (2)のおいで、(1)と協力して政治改革を進めたのは誰か。

[解答](1) 蘇我馬子 (2) 推古天皇

(3) 聖徳太子(厩戸皇子)

[問題](1 学期期末)

次の文の A, B, C の人物名を書け。

A は、おばの B が天皇になったとき、
実力者の C と協力して、政治舞台にあら
われた。C は 587 年に物部氏をほろぼし、
592 年に対立していた崇峻天皇を暗殺し
た。即位した女帝 B はおいの A を摂政と
し、国政を担当させた。

[解答]A 聖徳太子 B 推古天皇

C 蘇我馬子

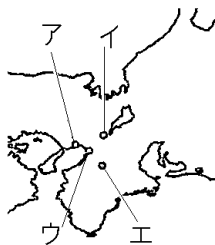
[問題](1 学期中間)

次の各問いに答えよ。

(1) 587 年に対立する物部氏をほろぼしたのは誰か。

(2) 593 年に即位した天皇の名前を答えよ。

(3) 聖徳太子は(2)の天皇によって何という役職に任じられたか。



(4) 「聖徳太子」はのちの時代につけられた名前である。この当時は何と呼ばれていたか。「〇〇皇子」という形で答えよ。

(5) このころ、政治の中心であった飛鳥地方を、地図中のア～エから 1 つ選び、記号で答えよ。

[解答](1) 蘇我馬子 (2) 推古天皇
(3) 摂政 (4) 厩戸皇子 (5) エ

[問題](1 学期期末)

次の文章中の①～⑦に適語を入れよ。

6 世紀になると、朝鮮半島では、右図 A の(①)が、大和政権と深い交流のあった B の(②)地域の国々をほ



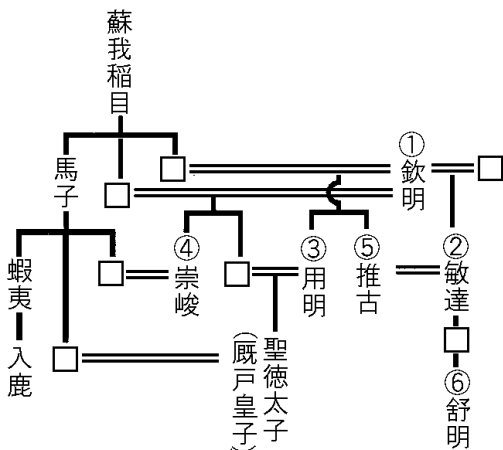
ろぼした。6 世紀末には、中国で(③)が国内を統一し、大帝国をつくった。このころ、大和政権では、豪族の対立や争いが激しくなった。そのなかでも、渡来人の知識や技術を利用して、勢力を伸ばしたのが(④)である。また、(④)は、対立していた(⑤)氏を倒して実力者になると、対立した崇峻天皇を殺害して、(⑥)天皇をたてた。しかし、(⑥)天皇は女性であったことから(⑥)天皇のおい

である(⑦)に摂政として政務を代行させた。

[解答]① 新羅 ② 伽耶 ③ 隋
④ 蘇我馬子 ⑤ 物部 ⑥ 推古
⑦ 聖徳太子

[問題](1 学期期末)

次の系図は、天皇家を中心としたものである。各問いに答えよ。



- (1) 聖徳太子や推古天皇と親戚関係にあった豪族は何氏か。図を参考に答えよ。
- (2) 聖徳太子は推古天皇の何にあたるか。
- (3) 聖徳太子の父にあたる人物は誰か。

[解答](1) 蘇我氏 (2) おい

(3) 用明天皇

[解説]

問題の家系図のように、大王(天皇)家と蘇我氏は密接な親戚関係にあった。

蘇我馬子の姉妹(図の□)は欽明天皇の

妃で、その間に生まれた推古天皇は馬子の

のめいにあたる。推古天皇の兄弟にあたる

用明天皇の子どもが聖徳太子なので、

聖徳太子は推古天皇のおいになる(推古

天皇は聖徳太子のおばである)。また、蘇

我馬子は聖徳太子にとって、父方・母方

双方の大おじ(祖母の兄弟)である。聖徳

太子は、蘇我馬子の娘を妃に迎えており、

2人は婿と舅の関係でもある。

※出題頻度:「天皇家と蘇我氏の家系図の問題○」

[冠位十二階]

[問題](1 学期期末改)

聖徳太子は、天皇を中心とした国づくりを行うために、603年に(X)を、604年に十七条の憲法を定めた。(X)は役人の位を冠の色で区別するもので、家柄にとられず、才能や功績のある人物を役人に取り立てるための制度であった。文中のXに適語を入れよ。

[解答]冠位十二階

[解説]

[冠位十二階]

家柄にとられず、才能や功績のある人物を役人に取り立てるための制度

天皇を中心とした国づくり

聖徳太子は、天皇を中心とした国づくり
を行うために、603年に^{かんいじゅうにかい}冠位十二階を、
604年に^{けんぽう}十七条の憲法を定めた。冠位十二階は、役人の位を冠の色(紫色が最高位)で区別する制度で、^{いえがら}家柄にとらわれず、^{さいのう こうせき}才能や功績のある人物を役人に取り立てようとするものであった。

※出題頻度：「冠位十二階◎」「家柄にとらわれず、才能や功績のある人物を役人に取り立てるため◎」「天皇を中心とした国づくりを行うため○」

[問題](後期中間)

聖徳太子は、冠の色などで地位を区別する制度を定めた。①この制度を何というか。

②また、この制度を定めた理由を次のア～エから1つ選び記号で答えよ。

ア 役人の心がまえを確認するため。

イ 中国の進んだ文化や政治制度を取り入れるため。

ウ 仏教を世の中に広げるため。

エ 家柄にとらわれず、才能や功績のある人物を役人に取り立てるため。

[解答]① 冠位十二階 ② エ

[問題](2 学期中間)

聖徳太子が制定した、冠位十二階の制度の目的を「家柄」「才能や功績」という語句を使って簡潔に説明せよ。

[解答]家柄にとらわれず、才能や功績のある人物を役人に取り立てるため。

[問題](後期中間)

聖徳太子は様々な政策を通して、どのような国づくりを目指していたと考えられるか。

「中心」という語を用いて簡潔に説明せよ。

[解答]天皇を中心とした国づくり。

[十七条の憲法]

[問題](2 学期中間)

次の資料について、後の各問いに答えよ。

一に曰く、和をもって貴しとなし、さからう(争う)ことなきを宗と(第一に)せよ。

二に曰く、あつく三宝を敬へ。三宝とは
(X)・法(仏教の教え)・僧なり。

三に曰く、詔(天皇の命令)をうけたまわりては必ずつつしめ(守れ)。

(1) 役人の心構えを示したこの資料は何か。

(2) 資料中の X に適語を入れよ。

[解答](1) 十七条の憲法 (2) 仏

[解説]

聖徳太子^{しょうとくたいし}は、604年に十七条の憲法を定め、仏教を重んじるべきことや天皇の命令に従うべきことなど、役人の心構えを示した。

「一に曰く、和^{いわ}をもって貴^{たつと}しとなし、さからう(争う)ことなきを宗^{むね}とせよ」とは「和を尊び、争いをやめよ」という意味である。この記述からも、当時、豪族間^{ごうぞく}の対立が激しかったことがわかる。

「二に曰く、あつく三宝^{さんぼう}を敬^{うやま}え。三宝とは仏^{ぶつ}・法^{ほう}・僧^{そう}なり」とは「仏教を重んじよ」という意味である。聖徳太子は、仏教をさかんにするこゝで豪族間の対立をやわらげ、仏教を共通の信仰^{しんこう}として国家の統一をはかろうとした。

「三に曰く、^{みことのり}詔をうけたまわりては必ずつつしめ」とは「天皇の命令を受けたときは、必ずこれに従え」という意味である。この当時、天皇(^{おおきみ}大王)の命令(詔)が必ずしも守られていなかったことがうかがえる。

※出題頻度：「聖徳太子◎」「十七条の憲法◎」「役人の心得を示すため◎」

「仏教を重んじ、天皇を中心とする政治を目指した○」「和◎をもって貴しとなし」「三宝とは仏◎・法・僧なり」「詔(天皇の命令)△をうけたまわりては必ずつつしめ」

[問題](前期期末)

次の資料について、後の各問いに答えよ。

一に曰く、(①)をもって貴しとなし、
さからうことなきを宗とせよ。

二に曰く、あつく三宝を敬え。三宝とは
(②)・法・僧なり。

三に曰く、詔をうけたまわりては必ずつ
つしめ。

(1) 資料は何の一部か。

(2) 資料はだれの心構えを示したもののか。

漢字 2 字で答えよ。

(3) 資料中の①, ②にそれぞれ漢字 1 字
を入れよ。

[解答](1) 十七条の憲法 (2) 役人

(3)① 和 ② 仏

[問題](2 学期中間)

次の資料について、後の各問いに答えよ。

一に曰く、(A)をもって貴しとなし、
さからうことなきを宗とせよ。

二に曰く、あつく三宝を敬え。三宝とは B
仏・法・僧なり。

三に曰く、C 詔をうけたまわりては必ず
つつしめ。

- (1) この資料は何か。
- (2) (1)はだれが制定したか。
- (3) (1)はどのような目的で定められたか、
「役人」という語句を使って書け。
- (4) 下線部 A に適語を入れよ。
- (5) 下線部 B から、取り入れようとした
宗教は何だとわかるか。
- (6) 下線部 C の「詔」とは何か。

(7) 下線部 C から，どのような政治を目指していたと考えられるか。

[解答](1) 十七条の憲法 (2) 聖徳太子
(3) 役人の心構えを示す目的。 (4) 和
(5) 仏教 (6) 天皇の命令 (7) 天皇を中心とする政治

[問題](後期中間)

次の資料を見て、後の各問いに答えよ。

一に曰く、(①)をもって貴しとなし、
さからうことなきを宗とせよ。

二に曰く、あつく(②)を敬え。(②)とは
(③)・法・僧なり。

三に曰く、詔をうけたまわりては必ずつつしめ。

- (1) 資料中の①～③に適語を入れよ。
- (2) この資料は何か。
- (3) (2)を制定した人物名を答えよ。
- (4) (3)の人物とともに、仏教を広めようとしたのは何氏か。
- (5) 資料は何世紀の初めに制定されたか。
- (6) 資料は誰のための心構えであるか。
- (7) 下線部の「詔をうけたまわりては必ずつつしめ」の意味を分かりやすく書け。

[解答](1)① 和 ② 三宝 ③ 仏

(2) 十七条の憲法 (3) 聖徳太子

(4) 蘇我氏 (5) 7 世紀初め (6) 役人

(7) 天皇の命令を受けたときは、必ずこれに従え。

[遣隋使]

[問題](前期期末)

中国では 6 世紀の末に、隋が南北朝を統一して強大な帝国をつくりあげた。聖徳太子は、隋の進んだ制度や文化を取り入れるために、小野妹子などを隋に派遣したが、この使節を何というか。

[解答]遣隋使

[解説]

589 年に隋^{ずい}が中国を統一し、強大な帝国をつくりあげた。

聖徳太子^{しょうとくたいし}は、

607 年に、隋の進んだ制度や文化を取り入れるために、小野妹子^{おののいもこ}を遣隋使^{けんずいし}として派遣^{はけん}した。遣隋使が持ち帰った中国の文化により、日本ではじめての仏教文化が栄えた。隋が滅びた後、618 年に唐^{とう}が中国を統一した。

※出題頻度：「小野妹子◎」「遣隋使◎」

「隋○」「隋の進んだ制度や文化を取り入れるため△」

[対外関係]

589年 隋が中国を統一

607年 遣隋使 (小野妹子)

隋の進んだ制度や文化を取り入れるため

618年 唐が中国を統一

[問題](1 学期期末)

次の各問いに答えよ。

- (1) 中国で、6世紀の末に南北朝を一して強大な帝国が生まれた。何という国か。
- (2) 聖徳太子は進んだ文化や制度を取り入れようと(1)の国へ使節を送り、対等な外交関係を結ぼうとした。この使節を何というか。
- (3) (2)の使節として送られた人物は誰か。
1人あげよ。

[解答](1) 隋 (2) 遣隋使 (3) 小野妹子

[問題](1 学期期末)

次の各問いに答えよ。

- (1) 聖徳太子が遣隋使として送った人物名を答えよ。
- (2) 遣隋使を送った目的を説明せよ。
- (3) 隋にかわって、618 年に中国を統一した王朝の名前を書け。

[解答](1) 小野妹子 (2) 隋の進んだ政治のしくみや文化を取り入れるため。

(3) 唐

[問題](1 学期期末)

聖徳太子が遣隋使を派遣した目的を、「対等」「制度や文化」という語句を使って説明せよ。

[解答]隋と対等な外交関係を結ぶことで東アジアでの日本の立場を有利にすることと、隋の進んだ制度や文化を取り入れること。

[聖徳太子全般]

[問題](1 学期中間)

聖徳太子が行った政治について述べた次の文中の①～③にあてはまる語句を書け。

- ・(①)の制度を定め，才能や功績のある人を役人に用いようとした。
- ・(②)を定め，役人の心構えを示した。
- ・(③)を派遣し，中国の進んだ制度や文化を取り入れた。

[解答]① 冠位十二階 ② 十七条の憲法
③ 遣隋使

[問題](1 学期中間)

次の文章中の①～⑧に適語を入れよ。

聖徳太子は(①)天皇の摂政として、蘇我(②)と協力して天皇を中心とする政治の仕組みを作ろうとした。603 年には、家柄にとらわれず、才能や功績のある人物を(③)に取り立てるために(④)の制度を設けた。また、604 年には(⑤)の憲法を定めて(③)の心得を示した。さらに、607 年に、中国の(⑥)へ(⑦)(人物名)を(⑧)使として派遣した。

[解答]① 推古 ② 馬子 ③ 役人

④ 冠位十二階 ⑤ 十七条 ⑥ 隋

⑦ 小野妹子 ⑧ 遣隋

【各ファイルへのリンク】

社会地理

[\[世界 1\]](#) [\[世界 2\]](#) [\[日本 1\]](#) [\[日本 2\]](#)

社会歴史

[\[古代\]](#) [\[中世\]](#) [\[近世\]](#) [\[近代\]](#) [\[現代\]](#)

社会公民

[\[現代社会\]](#) [\[人権\]](#) [\[三権\]](#) [\[経済\]](#)

理科 1 年

[\[光音力\]](#) [\[化学\]](#) [\[植物\]](#) [\[地学\]](#)

理科 2 年

[\[電気\]](#) [\[化学\]](#) [\[動物\]](#) [\[天気\]](#)

理科 3 年

[\[運動\]](#) [\[化学\]](#) [\[生殖\]](#) [\[天体\]](#) [\[環境\]](#)

【FdData 中間期末製品版のご案内】

このPDF ファイルは、FdData 中間期末をPDF 形式(スマホ用)に変換したサンプルです。製品版のFdData 中間期末はWindows パソコン用のマイクロソフト Word(Office)の文書ファイル(A4 版)で、印刷・編集を自由に行うことができます。

◆FdData 中間期末の特徴

中間期末試験で成績を上げる秘訣は過去問を数多く解くことです。FdData 中間期末は、実際に全国の中学校で出題された試験問題をワープロデータ(Word 文書)にした過去問集です。各教科(社会・理科・数学)約1800～2100 ページと豊富な問題を収録しているため、出題傾向の90%以上を網羅しております。

FdData 中間期末を購入いただいたお客様からは、「市販の問題集とは比べものにならない質の高さですね。子どもが受け

た今回の期末試験では、ほとんど同じような問題が出て今までにないような成績をとることができました。」「製品の質の高さと豊富な問題量に感謝します。試験対策として、塾の生徒に FdData の膨大な問題を解かせたところ、成績が大幅に伸び過去最高の得点を取れました。」などの感想をいただいております。

◆サンプル版と製品版の違い

ホームページ上に掲載しておりますサンプルは、製品の全内容を掲載しており、どなたでも自由に閲覧できます。問題を「目で解く」だけでもある程度の効果をあげることができます。しかし、FdData 中間期末がその本来の力を発揮するのは印刷ができる製品版においてです。印刷した問題を、鉛筆を使って一問一問解き進むことで、大きな学習効果を得ることができます。さらに、製品版は、すぐ印

刷して使える「問題解答分離形式」、編集に適した「問題解答一体形式」、暗記分野で効果を発揮する「一問一答形式」(理科と社会)の3形式を含んでいますので、目的に応じて活用することができます。

FdData 中間期末の特徴(QandA 方式)

◆FdData 中間期末製品版の価格

社会地理, 歴史, 公民 : 各 7,800 円

理科 1 年, 2 年, 3 年 : 各 7,800 円

数学 1 年, 2 年, 3 年 : 各 7,800 円

ご注文は電話, メールで承っております。

FdData 中間期末(製品版)の注文方法

※パソコン版ホームページは, Google
などで「fddata」で検索できます。

※Amazon でも販売しております。

(「amazon fddata」で検索)

【Fd 教材開発】 電話 : 092-811-0960

メール : info2@fdtext.com